

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター

優良品種・技術評価委員会品種評価基準

ー木質バイオマス生産量の大きいヤナギ品種ー

(目的)

第1条 本基準は、平成21年5月13日付け21森林林育37号 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター優良品種・技術評価委員会設置要領(最終改正:平成27年3月24日付け26森林林育第126号)第2条第1項の規定により、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター優良品種・技術評価委員会が、林木の優良な新品種の開発のうち、バイオマス生産量の大きいヤナギ品種の評価を行うために定める評価基準である。

(評価基準)

第2条 木質バイオマス生産量の大きいヤナギ品種の評価にあたっての基準を下の各号に定めるものとする。

- 一 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター品種開発実施要領ー木質バイオマス生産量の大きいヤナギ品種ー(平成27年9月2日付け森林林育第40号、以下「品種開発要領」という。)に定められた方法又はそれと同等の方法で品種開発が行われていること。
- 二 品種開発までの経緯、品種開発における調査データが明示されていること。
- 三 幹重量について、品種開発要領第5条第3項に規定する5段階評価値が、原則として4以上であること。

(平成27年9月2日 制定)

(平成29年4月1日 優良品種・技術評価委員会一部改正)